



『増補註釋食道楽』
春の巻・夏の巻
村井菘齋
(報知社出版部)



Miso Oden

文学は読むだけでも美味しい!?

和食や洋食などの料理やグルメ、家庭の食卓、レストラン……。
”食“を重要なテーマやキーワードにする文学作品は古今東西
数多くみられます。

今回の企画展では、名古屋出身の作家・清水義範の小説集
『蕎麦ときしめん』や、推理作家・太田忠司のミステリー小説
『名古屋駅西 喫茶ユトリロ』シリーズ、明治時代の日本に一
大グルメ小説ブームを巻き起こした、豊橋出身の作家・村
井菘齋の『食道楽』など、愛知にゆかりのある文学者によつ
て”食“をテーマに書かれた作品やエッセイを書籍資料
やパネルで紹介いたします。

また、名古屋を中心とした東海3県の老舗飲食店
が集まった”東海志にせの会“が1956年
2016年まで発行し、推理作家・江戸川乱歩や
作家・尾崎士郎らが寄稿していた食の総合誌
「あじくりげ」も合わせて展示します。



『ランチ探偵』水生大海
(実業之日本社文庫)



Tenmusu



『蕎麦ときしめん』
清水義範(講談社)



『名古屋駅西 喫茶ユトリロ』
太田忠司(角川ハルキ文庫)



『しゃばけごはん』島中恵・川津幸子(新潮文庫)

トークイベント 11/20(日) 13:30~15:00

「読む」なごやめし

講演/大竹敏之

(名古屋ネタライター)

会場/文化のみち二葉館1階大広間

定員/30名 ※入場無料(要入館料)

※11月6日(日)10時/文化のみち二葉館に電話

申し込み

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止

または変更になる場合があります。

【大竹敏之(おおたけとしゆき)】

名古屋のことだけを書く”名古屋ネタラ

イター”として活動し、雑誌、新聞、

Webなどに名古屋情報を発信する。

著書に『名古屋の喫茶店完全版』、『な

ごやじまん』など。



Toshiyuki Otake



『なごやじまん』大竹敏之
(びあ中部支社)

Oni manju



『あじくりげ』
(名古屋タイムズ社・東海志にせの会)



主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3丁目23番地

Tel & Fax 052-936-3836

https://www.futabakan.jp/



公式サイト



Instagram

「ドニエユキっぷ」 「一日乗車券」

を利用してご来館の方は入館料割引!

一般200円→160円



交通のご案内

- なごや観光ルートバスメーグル「文化のみち二葉館」下車
- 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
- 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
- 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
- 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

